



北海道遺産

Hokkaido Heritage

北海道遺産とは

次の世代に引き継ぎたい北海道の大切な宝物です。
豊かな自然はもちろん、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など有形・無形の財産の中から、道民参加によって選ばれました。

平成13年に第1回選定分25件、平成16年に第2回選定分27件、平成30年に第3回選定分12件、そして令和4年10月13日に第4回選定分6件と名称変更1件が決定・公表され、74件の北海道遺産が誕生しています。

宗谷総合振興局管内からは3件の宝物が北海道遺産として選定されています。



稚内港北防波堤ドーム(稚内市)

稚内一樺太大泊間の旧稚泊航路整備の一環として、冬季の北西越波防止のために建設された半アーチ式ドーム。海上からの高さ14m、柱間6mの円柱72本を並べた長さ427mの世界でも類を見ない独特の景観と構造を持ち、港湾土木史に残る傑作であるとともに、旧樺太航路時代の記憶を残す歴史遺産です。



宗谷丘陵の周氷河地形(稚内市)

宗谷丘陵に見られるなだらかな地形は、約2万年前の最終氷河の間に形成された氷河由来の特徴的なもので、氷河周辺部での凍結融解の繰り返しによってできました。谷が樹枝状に延びる地形は上空から観察することができます。日本最北端のこの丘陵には広大な肉牛牧場が広がり、厳しくも豊かな自然に育まれた健康な黒牛が放牧されています。



利尻島の漁業遺産群と生活文化(利尻島)

日本最北の利尻島には、近世以降の漁業と移住の歴史を物語る漁業遺産群があります。近世では、松前藩、近江商人による貿易場所がおかれ、アイヌがそれを支えました。島には当時の豊漁や航海安全を祈る神社や奉納物が残っています。幕末以降は、出稼漁民が松前や青森、秋田から渡り漁場を拓きました。その記憶は袋潤や番屋に、生活文化の名残は石碑や獅子舞などに込められ現在に伝えられています。

北海道宗谷総合振興局地域創生部地域政策課

〒097-8558 稚内市末広4丁目2-27 TEL(0162)33-2524 FAX(0162)33-2644

ホームページ <https://www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/>

発行 令和8年4月